



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻
第2号) 編集後記・購読要項・投稿
規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻第2号) 編集後記・購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要 1983, 29(2): 266-266

ISSUE DATE:

1983-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/120110>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 29, No. 2 ACTA UROLOGICA JAPONICA February 1983

泌尿器科紀要

第29巻 第2号 1983年2月



腎細胞癌患者血清中の抗腫瘍抗体について (英文)	石橋 道男・ほか	121
尿路悪性腫瘍患者における尿中 Ferritin, CEA, β_2 -MG に関する検討	大橋 輝久・ほか	131
尿路悪性腫瘍患者における血清 Ferritin, CEA, β_2 -MG, PAP に関する検討	大橋 輝久・ほか	141
日本病理剖検輯報よりみた睾丸腫瘍の実態	桐山 晋夫・吉田 修	155
急性腎不全 150 症例の予後に関する臨床的研究	石川 英二・ほか	169
Wilms' tumor における術前 Embolization の効果	小早川 等・ほか	185
Stage I 非セミノーマ睾丸腫瘍に対する bleomycin, vincristine, methotrexate 併用化学療法	福井 巖・ほか	191
陰茎前位陰嚢に対する陰嚢形成術	森 義則・ほか	199
陰茎前位陰嚢の 1 例	金子 佳照・ほか	207
後腹膜マラコプラキアの 1 例	平尾 憲昭・ほか	215
腎部分切除術を施行し長期生存している残腎腎盂腫瘍の 1 例	仲田浄治郎・ほか	223
限局性尿管アミロイドーシスの 1 例	八木 正晴・ほか	227
尿道脱を初発症状とした小児膀胱横紋筋肉腫の 1 例	中尾 昌宏・ほか	233
奈良県立医科大学泌尿器科学教室における 1980 年の臨床統計	岡島英五郎・ほか	239
Pivmecillinam (PMPC) の前立腺肥大症術後管理療法 に対する臨床評価	丸 彰夫・ほか	245
神経因性膀胱を中心とした排尿障害に対する新しい α -adrenergic blocker の効果	滝本 至得・ほか	255

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

禁 帯 出

着 後 1ヶ月間

編 集 後 記

stage III の辜丸腫瘍で肺に多数の転移があり、化学療法をおこなって一旦完全寛解を得たが、脳に転移を来し、これも手術と放射線照射により治療し、社会復帰せしめえた症例の治療費を調べてみて驚いた。なんと手術（脳外科の分も含む）、麻酔、処置の費用は全体の2.3%にすぎないのである。リハビリテーションのためにおこなった理学療法費などにいたっては0.1%。いっぽう52.7%が注射および投薬料（もちろん不必要なものは一切投与していない）、入院料26.4%（523日）、検査料15.4%、レントゲン検査料3.1%である。

医療技術の軽視もいいところである。

薬価基準が切り下げられたら、それにほぼ比例して病院の収入（公的医療機関でも）が減るといふ。薬の小売をしているのでもあるまいに、一体これはどういうことか。

現行の医療制度の矛盾が、いたるところで露呈しているように思われるのである。

(O. Y.)

購 読 要 項 (1983年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円（送料とも）を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投 稿 規 定 (1982年6月改定)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (i) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (ii) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (iii) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名（山田：または山田・ほか：）と、2語（例：前立腺がん・PSAP）からなる running title および5語（英文）以内の key words を付す。
 - (iv) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
3. 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words（和文に準ず）、running title（和文に準ず）の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
4. 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
5. 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする（例：山田^{1,3,7)}、田中ら^{1,3,7-10)}によると）

雑誌の場合—著者名（全員）：題名、雑誌名

巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名（全員）：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲 載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。

- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。

- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別 刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員：石神 襄次

前川 正信

宮崎 重

新谷 浩

園田 孝夫

友吉 唯夫

吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第29巻 第2号

1983年2月25日 印刷

1983年2月28日 発行

発行 吉田 修

顧問 加藤 篤二

発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入